

One Point

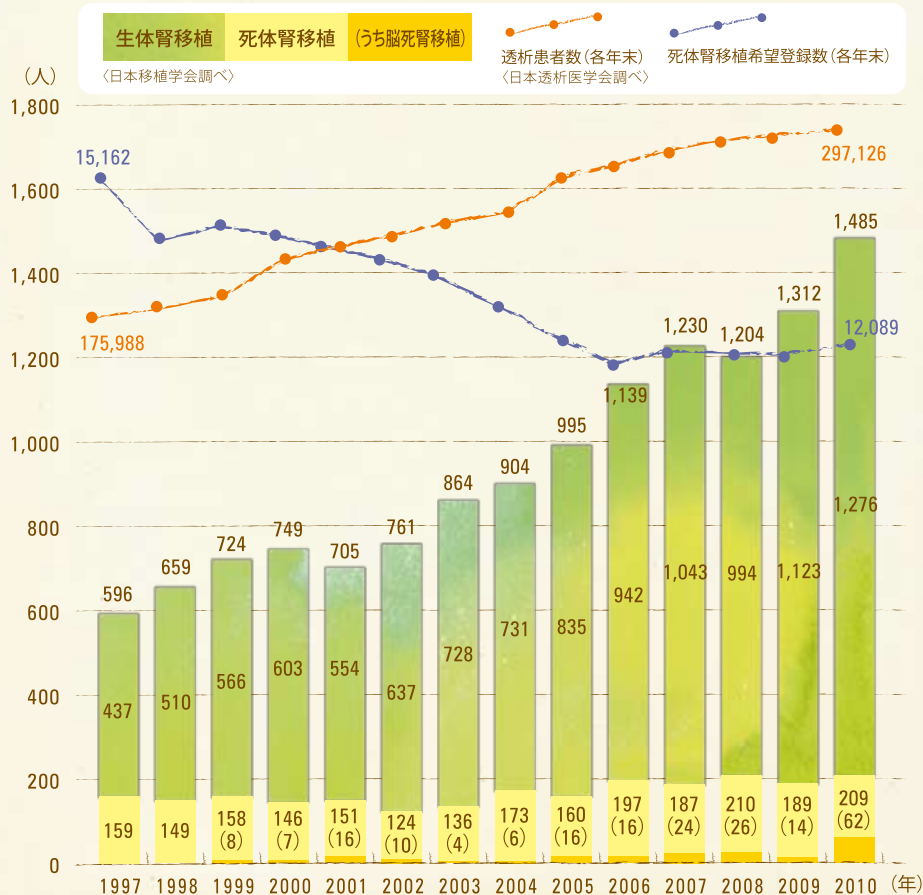
ワンポイント

食生活の乱れや運動不足などの生活習慣の変化による糖尿病が増加しており、2010年におよそ30万に達した人工透析患者さんの約3分の1の方は糖尿病性腎症といわれています。亡くなられた方からの臓器の提供を希望して腎臓の移植希望登録をしている方はおよそ12,000人ですが、亡くなられた方からの提供により腎臓移植を受けられる方は1年間で200人程度となっています。

移植を受けられた方が、移植希望登録をして移植を受けられるまでの平均待機期間(臓器同時移植を除く)は現在5199.6日(約14年)*となっており、待機期間が長いと、健康な家族から腎臓のひとつを提供してもらって生体腎臓移植の方が多いのが現状です。

(*2002年1月レシピエント選択基準改正後2010年12月31日までに移植を受けられた方)

〈腎臓移植件数〉



詳しくは <http://www.jotnw.or.jp/datafile/offer/index.html>

話そう。大切な人と。 昨年度に続いて、2011年度のグリーンリボンキャンペーンメッセージを務める関根麻里さんは、免許を取るために教習所に通っていた時に意思表示カードを見つけて、意思表示をしたそうです。ふだんから家族と話し合うことの大切さを伝えているポスターの掲示にご協力いただける方は、下記までご連絡ください。



携帯やパソコンから臓器提供の意思を登録しましょう!

ホームページ <http://www.jotnw.or.jp>
 モバイルサイト <http://www.jotnw.or.jp/m>



パソコン、携帯電話から臓器提供に関する意思の登録が可能です。登録後、IDの入った登録カードが発行され、本登録が完了すると、臓器提供の際に本人意思を確認する対象となります。

臓器移植に関するお問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル3階
 携帯電話からは
☎0120-78-1069 ☎03-3502-2071
<http://www.jotnw.or.jp> にもさまざまな情報が掲載されています。



JOTNW (社)日本臓器移植ネットワーク

臓器を提供してもよいという人(ドナー)やその家族の意思を生かし、臓器を提供してもらいたいという人(レシピエント)に最善の方法で臓器が贈られるように橋渡しをする日本で唯一の組織です。

<http://www.jotnw.or.jp/m>

●医療機関の皆様へ

脳死後でも心停止後でも、ご本人の意思が不明な場合、ご家族の承諾で臓器が提供できるようになりました。ドナー情報には、24時間対応しております。ご本人の臓器提供を希望する意思表示があるか、ご本人の意思が不明な場合に、ご家族が臓器提供について説明を聴くことを希望されましたら、下記フリーダイヤルにてお知らせください。

ドナー情報用全国共通連絡先 ☎0120-22-0149



一つしかない 腎臓を大切にするために

『生まれつき左の腎臓がありませんでした。奇形ですね。』私が小学校三年生9歳の時に先生から言われた言葉です。私はただ呆然として、隣にいた母は泣き崩れていたのを今でもハッキリと覚えています。

学校の尿検査で尿タンパクが高いのがわかり、すぐに受診を勧められました。先生からは『すぐ入院をして腎生検をしてから今後の治療法を考えましょう。』と言われ、腎生検前の検査で左の腎臓が無いのがわかったのです。先生から『今ある一つの腎臓を大切にするために薬と食事療法で頑張りましょう。』と言われました。それからとても厳しい食事療法が始まりました。ご飯からおかず、すべてを毎回秤で量り食事をしていました。もちろんスナック菓子や炭酸ジュースは一切禁止。友達と遊ぶ時は自分が食べられる物を持って遊んでいました。そのうち、学校の給食も食べられなくなり、お弁当を持って学校へ行っていました。腎臓病であること、そしてお弁当を持参していることでクラスの男の子から心ない言葉を言われた事もありました。今も私の辛い思い出となっています。

透析と食事療法の日々

中学三年生の夏休み直前、先生から『腎臓の機能が低下していて今の治療では厳しいので腹膜透析にしましょう。これからは自分で毎日透析をしなければならぬので夏休みに入院して手術をして透析の仕方を覚えましょう。』と言われ夏休みに入ってすぐに入院をしました。手術後、1週間で透析ができなくなってしまい再手術しました。ところが、またすぐに透析ができなくなり3度目の手術を受ける事になりました。3度目の手術後はスムーズに行き私もホッとしていました。

しばらくするとお腹のチューブの入口が膿んでしまい先生も原因がわからないと言っていました。私は落ち込んでしまい毎日泣いていました。「何で私だけがこんな事になるの…。3回も手術を頑張ったのに…。また手術をするのかな…。嫌だな…。」と思っていました。しばらく治療を続けていたら、膿は出なくなり、透析の仕方もすっかり覚えて2ヵ月間の入院生活を終えました。透析で少し食事制限が緩くなったので退院の日、両親は私のために好物を用意してお祝いしてくれました。兄は炭酸ジュースを買ってくれて一緒に飲みました。6年ぶりの炭酸ジュ-

ースはとても美味しかったです。透析は昼間も1回しなくてはならず、学校の保健室を使う約束でしたが急に使えなくなり、毎日早退して家で透析をしました。高校も透析があるので、全日制は行けず夜間高校へ4年間行き卒業しました。

移植後、本当に嬉しかった4年ぶりの尿

19歳の時に今も通院している病院へ転院しました。初診の時に先生から献腎移植希望登録を勧められて登録をし、21歳の時に献腎移植を受ける事ができました。

手術の前に「お腹のチューブを記念に取っておきたいので捨てないでください!!」とお願いをしました。15歳から21歳の6年間、私の身体の中において頑張ってくれたので今も大切に保存してあります。

移植の手術は7時間かかりました。目が覚めて先生から『良かったね。誕生日がもう一つ増えたよ。でも腎臓があなたとすべてマッチしている訳ではないから油断は禁物だよ!!』と言われました。尿が出るまで1ヵ月半ぐらいかかりました。移植後初めて尿意を感じトイレに行きました。そして尿が出た時の喜び…。17歳ぐらゐから4年間ずっと尿は出ていなかったのが本当に嬉しかったです。すぐにナースコールを押して知らせました。看護師さんも一緒に喜んでくれました。その後、ウイルスに感染してしまい毎日点滴の治療をして4ヵ月後に退院しました。

退院してすぐに卵巣のう腫の摘出手術を受けました。移植する少し前から見つかったのですが、大きくなってしまい痛くて痛くて歩行も困難になったので手術を決めました。卵巣を一つ摘出しましたが生理も順調にきました。透析中是不順で婦人科を受診したりしましたが、献腎移植で元気な腎臓をいただくことができ、私の身体が順調になったのだと思います。

結婚と妊娠 ～ドナーとドナーの ご家族に心から感謝

その後、結婚した時、先生から『子供ひとりなら産めるから産みなさい。』と言われましたが、私は自分の病気が遺伝したら私と同じ辛い思いをすることを考えていて子供を産む事を悩んでいました。



2歳になった娘と

ある時、外来で診察を待っていると子供を連れてくる女性がいました。勇気を出して声をかけてみると移植後に出産された方でした。その方のお話を聞いて私も出産する決意ができたのです。先生にも伝えて薬の調整をしてもらう事にしました。

7ヵ月後、妊娠していることがわかりました。初めて赤ちゃんの心臓が動いているエコーを見た時に嬉しくて涙が出ました。妊娠5ヵ月目に入った時に腎臓が痛くなり熱も出てしまったのです。すぐに病院へ連絡をして受診、入院となりました。尿路感染をしていたのです。毎日抗生剤の点滴と水分をたくさん取っていました。赤ちゃんに影響が無いように弱い抗生剤をお願いし、1週間で治り退院しました。

ドナーのご家族にも結婚と妊娠のお知らせを手紙に書きました。ご家族からお返事をいただき、喜んでいただけて私も嬉しかったです。

私の自宅と病院がだいぶ離れていたため、大事を取って帝王切開出産をお願いしました。

私の父の誕生日に出産することに決めました。小さい頃から身体の弱かった私のことをとても大事に育ててくれたので親孝行がしたかったのです。父は大喜びでした。

平成21年7月、体重3,000gを超える健康な女の子が生まれました。娘の元気な泣き声を聞いて、私は声をあげて泣いてしまいました。出産までに毎日、健康に生まれてくるかなと不安で一杯でしたから。娘も今年で2歳になります。言葉もだいぶ話せるようになり楽しいです。

出産後も腎機能は正常です。ドナーとドナーのご家族に心から感謝しています。

